ある岩室村の実現をめざして

一般会計予算 16億7千万円に

昭和五十七年第一回定例村議会は三月十日から十九日までの会期十日間で招集され、昭和五十七年度一般会計予算などについて審議されました。会期初日、村長は昭和五十七年度の施政方針を述べ、そのなかで、①水田利用再編対策への対応、②農村総合整備モデル事業の推進、③道路改良整備の推進、④教育の振興、⑤青少年健全育成と犯罪防止、交通安全対策の推進、⑥特別事業として、役場庁舎及び併設保健センターの建設、の六項目にわたる重点施策を掲げその所信を発表しました。以下その内容について要約し紹介します。

昭和57年度

施政方針

昭和五十七年度の国家予算をみると、昨年同様、財政再建を至上課題に徹底した歳出抑制型であり、内容も極めて厳しさが伺われます。当然、地方財政にもこの影響があらわれ、国と同一基調による節度ある財政運営が要請されているのであります。

このような動向をふまえ、第二次総合開発計画の初年度として、その具現を図るという基調のもとに、次の五項目と一項目の特別事業を重点施策として村政を推進いたします。

水田利用再編対策への対応

農業を基幹とする本村にとっては二一一・五*ha*の転作目標面積は産業基盤の根幹にかかわる重大問題であり、それだけに総力をあげてこの試練を乗り越えなければなりません。したがって、本年も、全農家のご理解を得ながらこの目標面積は何としても達成し、転作の定着化、集団化を更に進める一方、関係指導諸機関に対しても強力な支援を要請してまいります。

農村総合整備モデル事業 第二次工事の推進

着工初年度で早くも大幅な予定変更を余儀なくされるなど厳しい状況でありますが、昭和五十七年度以降も予算獲得には最大の努力をするとともに、事業の遅れは、制度の特質をまげない範囲で適切に対応し計画全体の実現に努力いたします。

本年度は、五四、二三〇千円を計上、道路改良三路線延長五〇六*m*、舗装一路線一七五*m*、水路改良二ケ所延長三五二*m*を予定いたしましたが、単価更正などにより本年度の達成率は残念ながら四%程度にしか達しない見込みです。

道路改良整備の促進

道路整備は、幹線道はもとより、部落内の隅々まで相当の整備が進んでおりますが、歩道、バイパス、安全施設、部落内の生活関連道路、農道や林道との関連等、問題はまだ山積しております。したがって五十七年度の工事予定として、改良七路線九二四*m*、三五九〇〇千円、舗装二四路線、四、〇七八*m*、五六、八五〇千円、維持工事六ケ所、一三、二〇〇千円交通安全施設、三、二五〇千円を計上、前年比四四%増いたしました。

教育の振興

近年、社会教育、社会体育施設の整備をはじめ、学校教育施設についても重点的に力を入れてきた結果、物的条件は一応の水準にあると思いますが、木造老朽の小学校三校の施設整備については、第二次総合開発計画にもありますとおり、近い将来の重要課題として受けとめ、今からそのためにかかるぼう大な財政需用に備え、可能な限り資金造成につとめてまいります。

また、新しく発足しようとしている婦人会はもちろん、青年組織の活性化など多くの教育文化団体がそれぞれの共通した側面を共鳴させ合って、大きな輪に広げていただきたいと念願し、そのために行政は可能な限りその条件整備につとめていく所存です。

青少年健全育成と犯罪防止 交通安全対策の推進

夢とやすらぎの

昭和57年度

青少年の非行やぐ犯行動は極めて大きな社会問題となっております。幸、本村にあっては大事に至っていないものの、その芽はかなり潜在しているようであります。

また、交通三悪については巻署管内で人口比でトップという不名誉な事実もあります。

このような現実を謙虚に受けとめ、全村民の理解を支えに健康で明るい家庭づくり、社会づくり施策を推進してまいります。

特別事業 役場庁舎及び、併設保健センター建設

昭和五十七年度から二ケ年の継続事業として役場庁舎を公民館隣接地に建設することとし、目下、基本設計及び所定の許認可手続きを進めております。本定例会には議案として提出するに至らなかったのでありますが、今後これら準備ができ次第あらためて提案いたします。また、消防庁舎は昭和五十八年度の単年度事業として実施いたしますし、商工会の会館建設に対しても必要な助成を行うなど建設準備も進んでおります。これら一連の計画が完成すれば、公共的な機関や施設が一画に集中し、相乗効果で、住民サービスも大いに向上するものと確信いたします。

特別会計

国民健康保険 特別会計

予算総額は前年比六・三%増の四〇二、六七三千円で、そのうち、保険給付費は三七七、七四九千円で総額の九四%を占めております。分娩による経済負担軽減のため、助産費を八万円から十万円に引き上げ、また、新たに保健施設費一、二五八千円を計上し、人間ドック助成事業を含めた健康保持増進対策を進めます。

水道事業 特別会計

昭和五十七年度において、急速ろ過装置の増設を計画していることから、水道料金をこの四月分から平均二四・八%増の負担をお願いいたしたいと考えています。とにかく、現在、現有施設の保守管理に万全を期し、安定供給につとめ、企業努力により経営の健全化をはかってまいります。

農業共済事業 特別会計

本年も一層組織の強化をはかり、適期散布と事故防止につとめ、農家負担の軽減をはかってまいります。特に麦共済加入については状況把握につとめ、制度適用に誤りなきを期したいと思っています。

温泉集中加熱事業 特別会計

昭和五十六年度に一一、〇〇〇千円を投じて、加熱施設を省エネ型に改めた結果、三〇%程度の節減見通しとなりました。五十七年度は管理棟の屋根の葺替えなどを考えておりますが常に事業の効率化と経済節減をはかり、健全経営につとめてまいります。

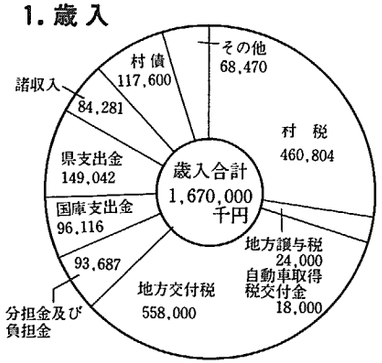
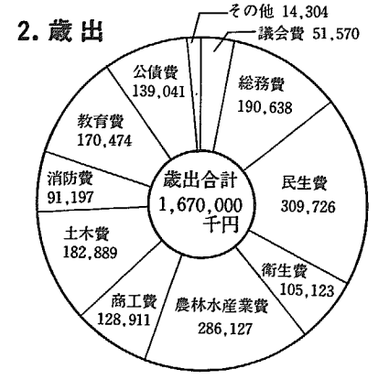
◇――◇――◇――◇――

以上のように述べ――外的には巻原子力発電所建設計画も前進しつつあるなど、重大な歴史的変革のときでもあり。これら変革の経緯を慎重に見極めながら、郷土の繁栄と住民福祉の向上のために集中し岩室村の限りない発展のために力を尽してまいりたい――と結びました。

特別会計

昭和57年度一般会計 予算の状況

1. 歳入



2. 歳出